

第一章 漢字がやってきた 7

1 カテーの問題 7

2 世界でたったひとつの文字 14

3 漢語とはどういう言語か 29

4 不器用な日本人 49

第二章 日本人は漢字をこう加工した 74

1 訓よみとかな 74

2 日本語の素姓 98

3 漢字崇拜という愚 110

第三章 明治以後 128

1 新語の洪水 128

2 翻訳語——日本と中国 144

3 顛倒した言語——日本語 153

4 「歴史」と「進歩」 158

## 第四章 国語改革四十年 169

1 漢字をやめようという運動 169

2 国語改革とは何だったのか 192

3 当用漢字の字体 213

4 新村出の痛憤 228

## 終章 やっかいな重荷 240

あとがき 247